


地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	み き のぶお	
氏名	三木 信夫	
所属・役職	大阪市教育委員会事務局 教育次長	
活動拠点	近畿 ただし、要請があれば全国対応します	
略歴	<p>昭和 60 年 3 月 京都大学 法学部卒業</p> <p>昭和 61 年 4 月 大阪市入庁(総務局行政部文書課法規係)</p> <p>平成 13 年 4 月 大阪市公文書館副館長</p> <p>平成 16 年 4 月 大阪府健康福祉部医務福祉指導室参事</p> <p>平成 18 年 4 月 大阪市財政局契約監理部財産活用推進担当課長</p> <p>平成 20 年 11 月 大阪市情報公開室監察部公正職務担当課長</p> <p>平成 25 年 4 月 大阪市教育委員会事務局学校経営管理センター所長(部長級)</p> <p>平成 29 年 4 月 大阪市立中央図書館長・教育委員会事務局生涯学習部長</p> <p>令和 3 年 4 月 大阪市教育委員会事務局理事(局長級)</p> <p>令和 4 年 4 月 大阪市教育委員会事務局 教育次長</p> <p>平成 22 年 6 月～平成 23 年 3 月 内閣府消費者委員会専門委員 公益通報者保護専門調査会での審議に参加</p>	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>学校教育 ICT の推進</p> <p>デジタルアーカイブやオープンデータの利活用</p> <p>学校校務支援システムの利活用</p>	
専門分野	オープンデータ 教育情報化／情報教育 デジタルアーカイブ／図書館	
自治体向けメッセージ	<p>コロナ禍で児童生徒の 1 人 1 台タブレット PC の配備が全国的に完了し、次はこれをどのように学校教育に生かし、子供たちの学力向上や人格の形成に役立てるかが課題となっています。校務支援システムとの連動も必須です。多くの税を教育資源に投資した今、その有効活用が住民から求められています。</p> <p>また、公共図書館は生涯学習の核となる知識基盤施設です。古文書や収蔵作品は利活用されてこそ、価値が生じます。デジタルアーカイブ化、オープンデータ化により、行政効率に資するだけでなく、様々な利活用、商品化がなされ、ビジネス支援、観光、地域おこしにもつながります。気楽にお声掛けください。</p>	
関連サイト	<p>大阪市：大阪市学校教育 ICT ビジョンの策定について (…>教育委員会事務局>その他)</p> <p>(osaka.lg.jp)</p> <p>大阪市立図書館ホーム</p>	

		<p>https://www.oml.city.osaka.lg.jp/ 大阪市立図書館デジタルアーカイブ http://image.oml.city.osaka.lg.jp/archive/ 「りぶしる」インタビュー記事 https://libinfo.fjas.fujitsu.com/loy_report/27_106_osakashiritsuoulib_1.htm</p>
地域情報 化に関する 実績	これまでの 経験業務・研究 活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪市立図書館デジタルアーカイブ 近世、明治期から戦前にかけての大阪に関する古文書、浮世絵、引札、絵葉書、写真等の画像をホームページで公開。24時間どこからでもパソコン・タブレット等から閲覧、ダウンロードができる(公開コンテンツ約 30,000 点)。 ・ 大阪市立図書館オープンデータの利活用 公共図書館としては全国で初めて、デジタルアーカイブのうち、著作権が消滅した地域資料約 7,000 点(画像 13 万枚)を、加工も商用利用も許容するオープンデータとして公開。二次利用申請が半減し、大幅な行政効率化が図られるとともに、トップページのアクセス件数が約 3 倍となった。マスコミでの紹介・引用も多く、商品化実例もある。 ・ ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2017 優秀賞(2017.11) ・ 総務省 ICT 地域活性化大賞優秀賞(2019.3) ・ 2018 年度勝手表彰貢献賞(2019.3) ・ 校務支援システムの構築と運用 教員の業務負担軽減と校務の効率化のため、大阪市立小中高校約 440 校に校務支援システムを導入し、通知表の作成、勤怠管理等の効率化により、担任を持つ教員で年間平均 160 時間以上の短縮効果があった。 ・ 大阪市学校教育 ICT ビジョンの推進
	これまでに 関与した地域情 報化に関するプロ ジェクト	大阪市立図書館デジタルアーカイブ 大阪市立図書館オープンデータ 図書館情報ネットワークシステム 生涯学習情報提供システム 学校校務支援システム 大阪市学校教育 ICT ビジョン